

# キラリ輝く地域の輪

●自治振興会の活動内容を紹介しています●

## 南仙自治振興会

— 緑豊かな郷土を守り、人々が相互扶助する南仙 —

南仙自治振興会は、甲南第二小学校区である、杉谷区、新治区、塩野区、市原区の4つの自治区で、平成24年2月に発足しました。発足後1年余りが過ぎたところですので、事業実施においても、まだ手探りの状態ですが、一步一步着実に取り組んでいきます。

- まちづくりの基本方針
  - ①安全・安心が確保され住み続けたい南仙づくり
  - ②生活環境の維持による住み続けたい南仙づくり
  - ③人と人が相互扶助により助け合い住み続けたい南仙づくり
- 以上3点を目指して事業に取り組めます。現在は、総務部会、地域振興部会の2つの部会が中心となって事業を進めています。

### 総務部会

総務部会では、事業の企画立案や事業の広報等を行います。事業の企画立案に伴い、先進地視察として、昨年11月、三重県名張市にある錦生自治協議会へ赴き、街づくりの現状や課題解決等の研修を行いました。



▲先進地視察として三重県錦生自治協議会へ

また、地域の皆さんに周知を図るため、広報「南仙」は年3回発行し、自治振興会の活動についてお知らせしました。

### 地域振興部会

地域振興部会では、市からの交付金を活用した事業の実施を行っています。

- 安全・安心が確保され住み続けたい南仙づくり
- 安全安心のまちづくり事業として、防犯灯のLED化や交通安全看板(飛び出し坊や)の設置を行いました。また、防災面での取り組みとして、一次避難場所や消火栓、防犯灯の位置等を記載した地域の防災マップを作成し各々に配布しました。
- 生活環境の維持による住み続けたい南仙づくり

▼環境美化のための除草作業



まちの景観を守り育むまちづくり事業として、各自治区で実施されている道路、水路等の除草作業に対して、草刈機の燃料を配布し環境美化につとめました。

- 人と人が相互扶助により助け合い住み続けたい南仙づくり
- 心と心がふれ合うまちづくり事業として、第二小学校学区民運動会や夏祭りなどに自治振興会から支援し、地域の



▲交流を深めた区民運動会



▲南仙の歴史についての発表会

交流をさらに深めることができました。また、歴史と文化を守り育てるまちづくり事業として、南仙の歴史を研究されている方々が、過去の第二小学校や周辺の生い立ちについて写真を収集し、地元の人々等の会合時に発表されました。

### 今後の活動

当地域は従来、区を中心に事業実施をしてこられたので、自治振興会での事業を取り組むには、4区の区民の皆さんの理解が重要です。そのために今後は、広報活動の強化のほか、区民の皆さんの自治振興会に対する意識調査の実施を検討しています。

また、本自治振興会の区域には、新名神高速道路の甲南インターチェンジがあることから、他府県からの通行車両も多く往来するようになり交通事故や散在ごみの増加も懸念しています。今後は、周辺道路の定期的な監視やごみ回収にも取り組まなければならないと考えています。

問い合わせ  
甲南第二地域市民センター  
086-81900 / 086-8191

### 柏木わんわんパトロール隊

#### ●柏木地域市民センター



柏木公民館で5月18日、柏木わんわんパトロール隊発隊式が開催されました。  
この事業は、「自分たちの地域は自分たちで守る、安全安心のまちづくりを進めるかしわざ自治振興会が、地域防犯の一事業として取り組まれたものです。」  
わんわんパトロールは、犬の散歩をしながら、地域を見回ることにより、犯罪の発生を防ぐ一助になると期待されています。  
現在、24名が登録されており、今後、地域の防犯意識を高めていくためにも、入隊者が増えるよう、愛犬家の皆様のご協力をお願いします。

### もうひとつのお届け物

#### ●雲井地域市民センター



雲井小学校では、5月17日にヤマト運輸さんによる交通安全教室が開かれました。  
ゴムひもが張られた車両で死角になる所を体験し、視野を広げる大切さなど講師の先生の巧みなお話を聞きながら全体学習をし、後半には交差点での自転車の渡り方を一人ずつ実践。車の陰を左右確認しながら慎重にわたりました。ブレーキの制動距離を当てるクイズでは、時速40キロの車が予想の数センチ手前で停車し、歓声とどよめきが上がりました。地元企業の社会貢献と社内研修の一環として取り組まれているこの教室で、子どもたちはしっかりと安全意識というお届け物を受け取りました。

### 田植え体験でタイムスリップ

#### ●甲南第三地域市民センター



5月13日、甲南第三小学校5年生の児童が田植え体験をしました。地元の人々を借りし、稲の生育から収穫までを学習する同校の取り組みで、毎年実施されています。  
この日は、甲賀市都市農村交流事業の一環で、民泊体験をしていた兵庫県神戸市立神戸生田中学校2年生の生徒8名も参加し、地元の方のご指導のもと「三角定規」を使った、昔ながらの田植え方法を体験しました。  
慣れない作業に、子どもからは「腰が痛いよ」と悲鳴も聞こえましたが、子どもたち同士の交流も深まり、楽しみながら約1時間半で作業を終えることができました。



### 高齢者サロンで交通安全と詐欺防止を呼びかけ

#### ●油日地域市民センター

五反田区では毎月第三火曜日に「五反田気楽サロン」が開催されています。また、5月21日には市の出前講座を利用した「高齢者の交通安全と振込詐欺防止」をテーマにした講演がありました。  
講師には警察官を迎え、交通安全の話では、体操や寸劇を取り入れて、交通ルールの再確認をされました。また、還付金詐欺などの犯罪が多発しているため、電話がかかっても一人で判断せず、「おかしいと思ったら警察へ電話を」と呼び掛けられました。  
参加された方からは、「わかりやすい話でまた聞きたい」、「気をつけようと思った」と話されていました。

